

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	柳澤 秀樹	法人・事業所の特徴	<p>1 個別ケア ひとりひとりが歩んでこられた理解と共感に基づき、笑顔と役割を持ち続けられるように、自立支援を基盤としたケアを行います。</p> <p>2 認知症ケア 認知症の正しい理解に基づき、ひとりの「人」としての尊厳を大切に、その人らしく安心して過ごせる居場所と関わりを提供します。</p> <p>3 看取りケア 穏やかな日々の暮らしの場で安らかな旅立ちを迎えられるように、さまざまな職種のスタッフが協力して、利用者様とご家族に寄り添い支えます。</p> <p>4 地域ケア 住み慣れた地域で安心して最期まで生活が送れるように法人内外の組織住民の方々との連携を図り支援します</p>
事業所名	小規模多機能あったかほ一む坂城	管理者	佐山 邦仁		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	1人	人	人	人	3人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	各利用者様に担当職員を置き、情報収集だけでなく、情報を有効に共有できるシステムを構築する。	タブレット等を用いて、情報共有を上手く図れることは出来た。利用者様の担当については、役割分担に不明瞭さが見られた。	新型コロナウイルス感染防止の観点から、外部評価はアンケート記載のみ実施。	利用者様の担当については、会社の書式を用いて、役割をより明確化して精査をしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染防止に配慮しつつ、利用者様が過ごしやすい様な環境を継続して整えていきます。	コロナに関するゾーニングについては、ハード面では限界があり、マンパワーで乗り切る術がなかった。適宜、清掃や屋外の環境整備にも力を入れられた。	新型コロナウイルス感染防止の観点から、外部評価はアンケート記載のみ実施。	引き続き、感染症予防を含めて、日頃からの環境整備を行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	感染が落ち着いた時点で、多方面との関わりを計画していきます。	コロナウイルスの影響もあり、地域へ出向くことがあっても交流をする機会はなかった。	新型コロナウイルス感染防止の観点から、外部評価はアンケート記載のみ実施。	対面が困難な場合には、代替えとなる発信方法で地域との関わりが切れないようにしていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	本人の暮らし方の把握と共に、必要な地域・社会資源との結びつきを検討し、実行していく。	事業所で提供するサービスに変化はないが、コロナによる活動制限が多く見られ、伴って地域資源との関わりも減っていた。	新型コロナウイルス感染防止の観点から、外部評価はアンケート記載のみ実施。	コロナによる制限の有無に関わらず、地域との情報共有を行いながら、新しいサービスの形式作りを行っていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み	参加して頂けるメンバーの見直しを含め、会議の拡充と共に、発信方法を見直していく。	コロナウィルスの影響により、会議への参加を促す機会が設けられなかった。	新型コロナウイルス感染防止の観点から、外部評価はアンケート記載のみ実施。	再度、参加して頂けるメンバーの見直しを含め、会議の拡充と共に、発信方法を見直していく。開催が出来ない場合の意見の集約方法を検討しておく。
F. 事業所の防災・災害対策	事業所の防災対策を地域へ理解して頂き、相互で協力できる体制を作っていく。	災害を想定した訓練は実施出来た。備蓄品については、水や食料等が未整備のまま。コロナの関係で消防署や地域への参加の呼びかけに制限が出た。	新型コロナウイルス感染防止の観点から、外部評価はアンケート記載のみ実施。	地域への協力体制や避難方法の共有を図っていく。物品の備蓄等の実施。